

# 2種類のタンパク質 臓器正常に保つ働き

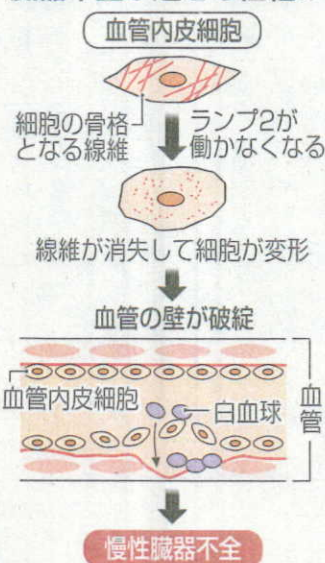
## 信大チーム解明

信大学院医学系研究科(松本市)の新藤隆行教授(46)は循環病態学Ⅱらの研究チームは15日、体内のタンパク質2種類が臓

## 慢性臓器不全 治療に光

器を正常に保つ上で重要な働きをしていることを突き止めたと発表した。これらがきちんと働かないと血管の構造が崩れ、心不全や肝不全といった「慢性臓器不全」につながるため、働きを高める薬を作り、予防や治療につなげる考えた。

ランプ2が働かず慢性臓器不全が起きる仕組み



2種類は、血管を広げたり「M」と、AMが結合する「2」。新藤教授らはこれまで新たに作ったりする働きがある細胞の膜表面にある受容体「アドレノメデュリン(A)の働きを調節する「ランプ2」があることを明らかにしていた。

今回、特殊な遺伝子改変でランプ2が作られなくなったマウスで調べた結果、血管の内側にある内皮細胞の骨格を作る線維が消え、細胞が血管の壁からはがれるなどし、血管の構造が破綻。そこから漏

## 住宅の除染 完了は23%

福島除く7県で調査

環境省は15日、東京電力福島第1原発事故に伴い市町村が除染を進める東北、関東地方の7県(福島県を除く)を対象に、昨年12月末時点の除染の進捗状況を発表した。具体的除染の予定が決まった住宅約10万4千戸のうち、作業が終了したのは23%にと

れた白血球が周りに炎症を引き起こし、心臓や肝臓などさまざまな臓器で慢性臓器不全につながる。新藤教授は「タンパク質の働きを高める化合物や抗体(特定の異物に結合するタンパク質)を見つければ慢性臓器不全の治療につながる。5年後を目標に実用化したい」とし、タンパク質の働きを高める薬の研究を始めた。研究成果は医学誌「サイエンス」(電子版)に発表した。図。

どまった。農地も予定の26%のみで、森林で終了したのはごく一部だった。昨年11月に公表した8月末現在の集計に続き2回目。環境省は「自治体ごとに事情が異なり傾向はつかみにくい」と説明している。

住宅は予定数10万3713戸のうち42%で業者に発注を終えたが、作業終了は2万3762戸。前回調査時から終了数は約7千戸増加したが、予定数も約9千戸増えた。

## 県内のガソリンスタンド 34施設休廃止の意向

### 老朽タンク改修義務化で

漏油事故による土壌汚染を防ぐため、消防庁がガソリンスタンドに義務付けた老朽地下タンクの改修・交換に対応できないなどとして、県内の事業者はタンクの使用許可を取り消される場合もある。

消防庁は、設置から40年以上たった地下タンクなどの改修を事業者が義務化。未対策の事業者はタンクの使用許可を取り消される場合もある。

漏油事故による土壌汚染を防ぐため、消防庁がガソリンスタンドに義務付けた老朽地下タンクの改修・交換に対応できないなどとして、県内の事業者はタンクの使用許可を取り消される場合もある。

## また金の延べ板 所に2000万円相当



東日本大震災で被災した宮城県石巻市のNP〇法人など2カ所に今月上旬、金の延べ板6枚(計4錠、時価計約2千万円相当)がそれぞれ2回にわたって郵送で届いたことが15日、分かった。いずれも匿名で、「長野中央」「長野東」と長野市内の郵便局の消印が押されていた。

「ネットワーク」に郵送  
内の郵便局の消印  
宮城県石巻市

石巻市では今月8日、石巻魚市場に長野市から匿名で、1錠の金の延べ板2枚(時価計約1千万円相当)が届いている。今回届いたのは、被災地で活動するNPO法人「石巻復興支援ネットワーク」と、石巻市ゆかりの漫画家石ノ森章太郎さんの作品を展示する「石ノ森漫画館」を運営する第三セクター「街づくりまなぼと」。

まんぼと社によると、2月4日ごろに500枚の延べ板2枚、7日ごろに1錠の延べ板1枚が届いた。封筒などには「支援金」「支援品」と書かれており、手紙などは同封されていない。西條允敏社長(68)は「感謝の気持ちでい

放射線量(μSv/h)

盛岡市	0.019
岩手市	0.084

## 空間放射線量の最大値の推移 (平日発表)

長野	0.040	0.042
県環境保全研究所	0.049	

県環境部は15日、測定した県内の環境保全全15市の14市(上野市を除く)の時0.040μSv/h

## 県内空間